



総合教育センターだより

BE Connected



平成25年2月18日(月)
第47号(通算第130号)
京都府総合教育センター
TEL : 075-612-3266

学び続ける教職員として 初任期育成研修、1年次が終わる



講座報告

平成24年度初任期育成研修の1年次の修了にあたり、**初任者・新規採用者研修共通「教育実践」講座**で校種・職種を代表して6名の先生が実践発表を行いました。

昨年4月、希望と不安の中で初任者・新規採用者として勤務校に着任し、学習指導、生徒指導などでさまざまな課題に直面しながらも真摯に立ち向かい、勤務校の先生方の温かい支援を受けつつ今日に至っている経緯が発表されました。

また、研修に参加された一人一人の先生方からは、勤務校研修やセンター等研修を積み上げる中で、幼児児童生徒、保護者等の期待にこたえるべく努力し、教職員として成長してきた様子がうかがえました。



4月 初任期育成研修開講式



5月 「幼稚園教諭」講座



6月 「中学校授業参観」講座



6月 「高等学校授業参観」講座



7月 「京の伝統文化体験」講座



8月 「小学校教科教育」講座



10月 「小学校外国語活動」講座



11月 「防災体験」講座



2月 「教育実践」講座

感想

・孤独感や不安を抱えてのスタートだった。しかし、初任者・新規採用者の6人の先生方と研修の中でふだんの悩みを話し、相談し、情報を共有することができた。研修に行くことが自らの励みになり1年間乗り越えられる原動力になった。(栄養教諭)

・6人の先生方の実践発表に共通していたのは、教師である自分が「先を見通す力をつける」ということである。生徒の3年間をあくまで以上はしっかりとした計画を持ち、卒業後の生徒のためにどのような指導が必要かを常に考えることや、「未来」から「今」を考える視点が重要であることを学んだ。(高等学校教諭)

平成24年度 手作り府民講座

府内の子どもたちに体験を通して学びと気づきを深め、知的好奇心をさらに高めてもらうことをねらいとして、手作り府民講座「ワクワクおもしろ学び教室」を開催しました。

当日270名(児童143名、保護者等127名)の参加があり、楽しく一日を過ごしました。



桃山高校吹奏楽部によるオープニング



山城・丹後両郷土資料館の協力で火おこし体験

ワクワク おもしろ 学び教室

平成25年1月19日(土)
総合教育センター

実施報告



洛水高校茶道部の協力による茶道体験



タオルを使って犬のぬいぐるみをつくります。京都すばる高校の生徒のみなさんにボランティアでサポートしていただきました。



センタ君がお出迎え

感想

児童
保護者



さんぽの歌を手話でやったのがおもしろかった。子どもに教えてやれないことを体験させてやる事ができてよかったです。火おこし体験など普段できないので貴重でした。

新しい
研究冊子

ユニバーサルデザイン授業 ~発達障害のある子どもを含めて、どの子にもわかりやすい授業~

総合教育センターでは平成23年度から2年間にわたり、「通常の学級におけるユニバーサルデザイン授業の研究」を行いました。この度その成果を冊子にまとめました。

発達障害等により特別な支援を必要とする児童生徒が通常の学級には、在籍しています。各校(園)で取組が進められ、発達障害等に対する理解も進んできましたが、通常

の学級で、授業をどのように進めていけばよいのか悩んでいるという現状もみられます。

ユニバーサルデザイン授業の扉を開いてみてください。

なお、本冊子は今号のセンターだよりとあわせて各校にお配りするとともに、総合教育センターホームページITEC

(<http://www.kyoto-be.ne.jp/ed-center/>)に掲載しています。

ユニバーサルデザイン授業

~発達障害等のある子どもを含めて、どの子にもわかりやすい授業~



京都府総合教育センター



人材育成支援室より
お薦めの一冊

「いのちをはぐくむ農と食」
小泉 武夫 岩波ジュニア新書

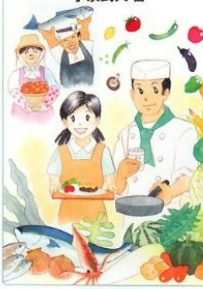
本書はどの年代層にも気楽に読める本です。平成22年度に第二次京都府食育推進計画が策定されました。その中では、地元産農産物の供給品目の割合を上げること等の目標数値が示されています。

学校現場においても平成17年度からの栄養教諭制度の実施以降、より一層、府や各地域の教育委員会による連携を密にした食育の取組が進められてきています。

このような時期に地産地消や和食の良さ等、日本の食について今一度考えてみてはどうでしょうか。(Y.S)

いのちをはぐくむ農と食

小泉武夫 著



岩波ジュニア新書